

What's new? —研究室探訪—

信州大学医学部再生医科学教室

柴 祐司

再生医科学教室は、2017年に開校した信州大学医学部の中で最も新しい教室です。研究室は旭総合研究棟7階および8階にあり、スタッフ3名に加え、心臓血管外科、脳神経外科、循環器内科、呼吸器内科、リハビリテーション科など様々な臨床教室から大学院生を受け入れ、海外からの留学生2名を含め総勢16名（2024年10月現在）で研究を行っています。多能性幹細胞（ES細胞およびiPS細胞）を用いた疾患メカニズムの解明および新規治療法の開発研究を行っています。研究室設立から7年を迎え、研究体制もほぼ整備されてきました。研究テーマは研究室で可能な範囲で大学院生の希望を尊重し、各自が自主的に楽しみながら研究できるような環境づくりを心掛けています。現在研究室で行っている主な研究内容を列挙します。

1. 多能性幹細胞由来心筋細胞を用いた心筋再生研究
2. 筋ジストロフィー患者由来iPS細胞を用いた新規治療法の開発
3. 重症遺伝性てんかんの病態メカニズムの解明
4. 抗がん剤投与後心筋症に対する新規治療法の開発

学内では前述した臨床教室に加え、分子薬理学教室、病理学教室、臨床薬理学教室と共同研究を行い、また学外では慶應義塾大学、大阪大学、さらに海外（オーストラリア、カナダ、スペイン）と密接に共同して研究を展開しています。また、企業との共同研究・受託研究も4件（2024年10月現在）行っています。現在研究室の悩みは十分なスペースが確保できずに大学院生の受け入れを制限していることですが、医学部のご協力・ご厚意により今年度中に新規スペースが整備される見込みとなりました。この場をお借りして関係者に感謝いたします。来年度には、糖尿病内科からも大学院生を受け入れる予定となっています。今後さらに多くの診療科・教室から大学院生・研究生として当教室に参加してくれることを期待しております。どうぞよろしくお願いいたします。



2024年3月 歓送迎会